

# 平成 1 5 年度事業報告書

〔 平成 1 5 年 4 月 1 日から  
平成 1 6 年 3 月 3 1 日まで 〕

## 目 次

.概要	-----	2
.理事会	-----	3
.評議員会	-----	4
.主要事業活動	-----	5
1 . 産業技術人材育成事業	-----	6
(1) 経営管理研修		
(2) 先進技術者企業研修		
(3) 品質管理・工業標準化研修		
(4) 技術者専門研修		
(5) 理工系大学院生 ウィンターインスティテュート		
2 . 韓国産業生産性向上協力事業	-----	11
(1) 生産性向上モデル企業育成		
(2) 専門技術者派遣		
(3) 生産性向上短期コンサルティング		
3 . 産業技術交流事業	-----	14
(1) 産業技術交流ミッション		
(2) 官民若手交流事業		
(3) 地域間各種交流事業支援		
(4) 部品・素材産業活性化事業		
4 . 調査広報事業	-----	18
(1) 産業国際競争力向上セミナー		
(2) 各種委託調査		
(3) 各種広報事業		
a . 両国財団シンポジウム		
b . 財団広報事業		
. 日韓両財団「連絡協議会」及び「連絡協議会幹事会」の開催	-----	21
. 事務局人事	-----	22
. 財団日誌	-----	23

## 概 要

当財団が設立後、事業を開始して以来 11 年が経過した。これまで日本政府、及び関係経済団体のご協力と日本側企業の多大のご支援により、年毎に事業の成果が上がってきたと思われる。この 11 年間で当財団の研修・研究事業、セミナー等を受講した人数は約 4,400 名、また生産性向上協力事業等を実施した企業数は約 340 社になる。

財団活動に対しては、年を重ねる毎に、改めてその役割が認識され、今後の活動も期待されている。日韓両国政府や、関係者から良い評価を頂いて来たが、また事業に参加した韓国企業の社員や研修生からも、講師・専門家の助言や、研修内容が大変有益であったと感謝されている。

これまでも度々言われて来たことであるが、韓国経済を下支えとなるべきいわゆる部品・素材産業の成長が未だ十分でないために、資本財、部品等の供給の大半を日本や米国に依存せざるを得ない経済環境と産業構造が大きく変わっていないため、対日赤字は依然として減少しておらず、引続き韓国の中堅・中小製造業への更なる育成・強化が必要とされている。

平成 15 年度は、基本財産の運用益の外に、政府からの拠出金 3.1 億円（外務省 1.08 億円、経済産業省 2.02 億円）を得て事業を実施した。

1. 当年度中、理事会 2 回、評議員会 2 回を開催し、財団運営の重要事項について審議、議決を行った。
2. 平成 15 年度第 1 回理事会で承認された平成 15 年度事業計画に従い下記事業を実施した。
 

(1) 産業技術人材育成事業	5 事業
(2) 韓国産業生産性向上協力事業	3 事業
(3) 産業技術交流事業	4 事業
(4) 調査広報事業	4 事業
3. 日韓両財団の共同事業
 

経営管理研修、先進技術者企業研修、品質管理・工業標準化研修、技術者専門研修〔KITA〕、専門技術者派遣、生産性向上短期コンサルティング、産業技術交流促進ミッション受入れ、官民若手(オピニオンリーダー)交流、産業国際競争力向上セミナーの 9 事業を実施した。
4. (1)日韓両財団第 10 回連絡協議会を平成 15 年(2003 年)4 月 25 日韓国大邱市にて開催した。  
 (2)日韓両財団第 11 回連絡協議会幹事会を平成 15 年(2003 年)5 月 22 日ソウルにて開催した。

以上が、平成 15 年度の概要である。

## ・ 理 事 会

今年度は2回の理事会を開催、いずれも瀬戸雄三理事長（アサヒビ

c フ黠夕 | c 題p R c ザ衤完 / ) 靡 う 苧 | I r

8 S S R I 』 U 衤酒

## 評 議 員 会

今年度は2回の評議員会を開催、互選の結果、第1回評議員会は村上弘芳評議員、第2回評議員会は下出道雄評議員が議長となって議題を審議し、表決が必要な事項については、すべて原案どおり異議なく承認された。各評議員会の概要は以下のとおりである。

### 1. 平成15年度第1回評議員会

平成15年6月16日(月) 午後3時00分～3時30分

経団連会館 11階 (縄文)

出席者 23名 (内訳:評議員本人 4名、表決委任 19名)

欠席者 1名

〔評議員総数 24名〕

〔審議事項〕

平成15年度事業計画(案)について

平成15年度収支予算(案)について

〔報告事項〕

平成14年度事業報告について

平成14年度収支決算報告について

### 2. 平成15年度第2回評議員会

平成16年3月25日(木) 午後3時00分～3時30分

経団連会館 11階 (大和)

出席者 20名 (内訳:評議員本人 3名、表決委任 17名)

欠席者 4名

〔評議員総数 24名〕

〔審議事項〕

平成16年度事業計画(案)について

平成16年度収支予算(案)について

〔報告事項〕

事務所移転について

役員の在任年齢に関する規定について

その他

以 上

## ． 主 要 事 業 活 動

平成15年6月16日の理事会及び評議員会で承認された事業計画に従い下記事業を実施した。(主な事業の詳細は5頁以下参照)

【共同】: 韓日財団との共同事業

- 1 . 産業技術人材育成事業
  - (1) 経営管理研修 【共同】
  - (2) 先進技術者企業研修 【共同】
  - (3) 品質管理・工業標準化研修 【共同】
  - (4) 技術者専門研修 【共同】
  - (5) 理工系大学院生(ウィンターインスティテュート)
  
- 2 . 韓国産業生産性向上協力事業
  - (1) 生産性向上モデル企業育成
  - (2) 専門技術者派遣 【共同】
  - (3) 生産性向上短期コンサルティング 【共同】
  
- 3 . 産業技術交流事業
  - (1) 産業技術交流促進ミッション 【共同】
  - (2) 官民若手交流事業
  - (3) 地域間各種交流事業支援
  - (4) 部品・素材産業活性化事業
  
- 4 . 調査広報事業
  - (1) 産業国際競争力向上セミナー 【共同】
  - (2) 各種委託調査
  - (3) 各種広報事業
    - a . 両国財団シンポジウム
    - b . 財団広報事業



# 1. 産業技術人材育成事業

事業名	(2) 先進技術者企業研修	【共同事業】																																																																																																
事業内容	<p>韓国企業の中堅技術者が、日本の企業において、技術又は経営上の課題をテーマにして、日本の企業と共同で技術研修を行う。</p>																																																																																																	
実施状況	<p>1. 研修期間 2003年8月25日～11月15日(83日間)</p> <p>2. 研修内容 (1) 導入研修 企業研修及び研修中の日常生活の円滑化を図るために行うもので、日本入国前5週間の日本語研修、日本入国後1週間の日本の文化・習慣等についての研修を実施。 (2) 企業研修 各受け入れ企業において、約2.5か月間実施。派遣及び受け入れ企業の双方にメリットが出るようなテーマを選定して研修を行った。</p> <p>3. 研修生派遣企業(45社)及び受け入れ企業(39社)</p> <table border="0" data-bbox="287 996 1441 1758"> <thead> <tr> <th data-bbox="287 996 566 1030">&lt;派遣企業&gt;</th> <th data-bbox="566 996 845 1030">&lt;受け入れ企業&gt;</th> <th data-bbox="845 996 1125 1030">&lt;派遣企業&gt;</th> <th data-bbox="1125 996 1441 1030">&lt;受け入れ企業&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)(株)大邱放送</td> <td>株式会社ビジョンプランニング</td> <td>(23)(株)東和Entec</td> <td>長菱ハイテック(株)</td> </tr> <tr> <td>(2)大連精工(株)</td> <td>大邱精工(株)</td> <td>(24)(株)DK SENSOR</td> <td>(株)芝浦電子</td> </tr> <tr> <td>(3)(株)DK産業</td> <td>大邱精工(株)</td> <td>(25)三和電子工業(株)</td> <td>日立金属(株)</td> </tr> <tr> <td>(4)(株)有珍S TECH</td> <td>大邱精工(株)</td> <td>(26)世元E&amp;T(株)</td> <td>油研工業(株)</td> </tr> <tr> <td>(5)(株)有珍精工</td> <td>大邱精工(株)</td> <td>(27)(株)Solinc</td> <td>日本ユニシスエクセリウシヨンス(株)</td> </tr> <tr> <td>(6)大韓パーカライジング(株)</td> <td>日本パーカライジング(株)</td> <td>(28)(株)雅監金属工業</td> <td>(株)ウチダ</td> </tr> <tr> <td>(7)東洋エンジニアリングコリア(株)</td> <td>東洋エンジニアリング(株)</td> <td>(29)アールエスコリア(株)</td> <td>リンナイ精機(株)</td> </tr> <tr> <td>(8)東京エレクトロコリア(株)</td> <td>東京エレクトロ(株)</td> <td>(30)(株)エスエイシー</td> <td>三建産業(株)</td> </tr> <tr> <td>(9)東西石油化学(株)</td> <td>旭化成ケミカルズ(株)</td> <td>(31)Altwell Cosmetic(株)</td> <td>日光ケミカルズ(株)/(株)コスメテクノ</td> </tr> <tr> <td>(10)三永INK PAINT製造(株)</td> <td>東洋インキ製造(株)</td> <td>(32)(株)友元M&amp;T</td> <td>(株)山武</td> </tr> <tr> <td>(11)ソウル東光(株)</td> <td>東光(株)</td> <td>(33)宇進機電(株)</td> <td>(株)東芝</td> </tr> <tr> <td>(12)愛敬化学(株)</td> <td>大日本インキ化学工業(株)</td> <td>(34)(株)宇進産電</td> <td>(株)東芝</td> </tr> <tr> <td>(13)LG日立(株)</td> <td>(株)日立製作所</td> <td>(35)(株)WIMEX</td> <td>(株)ワールドプライダル</td> </tr> <tr> <td>(14)韓国アルプス(株)</td> <td>アルプス電気(株)</td> <td>(36)(株)利生</td> <td>東洋製缶(株)</td> </tr> <tr> <td>(15)韓国横河電機(株)</td> <td>横河電機(株)</td> <td>(37)周弘情報通信(株)</td> <td>日立電線(株)</td> </tr> <tr> <td>(16)韓国ヒスコ(株)</td> <td>(株)日立ハイテクノロジーズ</td> <td>(38)(株)PULUMUONE</td> <td>朝日食品工業(株)</td> </tr> <tr> <td>(17)Welfied Korea(株)</td> <td>三菱ウェルファーマ(株)</td> <td>(39)PULUMUONE第1豆腐工場</td> <td>朝日食品工業(株)</td> </tr> <tr> <td>(18)江南化成(株)</td> <td>大日本インキ化学工業(株)</td> <td>(40)韓国松井(株)</td> <td>(株)松井製作所</td> </tr> <tr> <td>(19)(株)金成精工</td> <td>日精油脂工業(株)</td> <td>(41)韓国BOLT工業(株)</td> <td>阪村産業(株)</td> </tr> <tr> <td>(20)(株)大同システム</td> <td>日本ケーブルシステム(株)</td> <td>(42)韓国OMURON電送(株)</td> <td>オムロン(株)</td> </tr> <tr> <td>(21)東明重工業(株)</td> <td>ディーエスコポレーション(株)</td> <td>(43)韓国KOLMAR(株)</td> <td>日本コルマー(株)</td> </tr> <tr> <td>(22)東海電送(株)</td> <td>古河電気工業(株)</td> <td>(44)(株)韓-MEC</td> <td>(株)山武</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(45)ヒロセコリア(株)</td> <td>ヒロセ電機(株)</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 成果等 (1) 本年度も、韓国側の要望により受け入れ研修生を45名にて実施した。研修生の自主性に重点を置き、出来るだけ一人で行動する様に配慮し、成果を挙げた。 (2) 各受け入れ企業の研修スケジュールは、研修中、研修生が常に多くの日本人、又、日本の文化・習慣等に接触出来るよう配慮したため、研修生の日本に対する理解が深まった。</p>		<派遣企業>	<受け入れ企業>	<派遣企業>	<受け入れ企業>	(1)(株)大邱放送	株式会社ビジョンプランニング	(23)(株)東和Entec	長菱ハイテック(株)	(2)大連精工(株)	大邱精工(株)	(24)(株)DK SENSOR	(株)芝浦電子	(3)(株)DK産業	大邱精工(株)	(25)三和電子工業(株)	日立金属(株)	(4)(株)有珍S TECH	大邱精工(株)	(26)世元E&T(株)	油研工業(株)	(5)(株)有珍精工	大邱精工(株)	(27)(株)Solinc	日本ユニシスエクセリウシヨンス(株)	(6)大韓パーカライジング(株)	日本パーカライジング(株)	(28)(株)雅監金属工業	(株)ウチダ	(7)東洋エンジニアリングコリア(株)	東洋エンジニアリング(株)	(29)アールエスコリア(株)	リンナイ精機(株)	(8)東京エレクトロコリア(株)	東京エレクトロ(株)	(30)(株)エスエイシー	三建産業(株)	(9)東西石油化学(株)	旭化成ケミカルズ(株)	(31)Altwell Cosmetic(株)	日光ケミカルズ(株)/(株)コスメテクノ	(10)三永INK PAINT製造(株)	東洋インキ製造(株)	(32)(株)友元M&T	(株)山武	(11)ソウル東光(株)	東光(株)	(33)宇進機電(株)	(株)東芝	(12)愛敬化学(株)	大日本インキ化学工業(株)	(34)(株)宇進産電	(株)東芝	(13)LG日立(株)	(株)日立製作所	(35)(株)WIMEX	(株)ワールドプライダル	(14)韓国アルプス(株)	アルプス電気(株)	(36)(株)利生	東洋製缶(株)	(15)韓国横河電機(株)	横河電機(株)	(37)周弘情報通信(株)	日立電線(株)	(16)韓国ヒスコ(株)	(株)日立ハイテクノロジーズ	(38)(株)PULUMUONE	朝日食品工業(株)	(17)Welfied Korea(株)	三菱ウェルファーマ(株)	(39)PULUMUONE第1豆腐工場	朝日食品工業(株)	(18)江南化成(株)	大日本インキ化学工業(株)	(40)韓国松井(株)	(株)松井製作所	(19)(株)金成精工	日精油脂工業(株)	(41)韓国BOLT工業(株)	阪村産業(株)	(20)(株)大同システム	日本ケーブルシステム(株)	(42)韓国OMURON電送(株)	オムロン(株)	(21)東明重工業(株)	ディーエスコポレーション(株)	(43)韓国KOLMAR(株)	日本コルマー(株)	(22)東海電送(株)	古河電気工業(株)	(44)(株)韓-MEC	(株)山武			(45)ヒロセコリア(株)	ヒロセ電機(株)
<派遣企業>	<受け入れ企業>	<派遣企業>	<受け入れ企業>																																																																																															
(1)(株)大邱放送	株式会社ビジョンプランニング	(23)(株)東和Entec	長菱ハイテック(株)																																																																																															
(2)大連精工(株)	大邱精工(株)	(24)(株)DK SENSOR	(株)芝浦電子																																																																																															
(3)(株)DK産業	大邱精工(株)	(25)三和電子工業(株)	日立金属(株)																																																																																															
(4)(株)有珍S TECH	大邱精工(株)	(26)世元E&T(株)	油研工業(株)																																																																																															
(5)(株)有珍精工	大邱精工(株)	(27)(株)Solinc	日本ユニシスエクセリウシヨンス(株)																																																																																															
(6)大韓パーカライジング(株)	日本パーカライジング(株)	(28)(株)雅監金属工業	(株)ウチダ																																																																																															
(7)東洋エンジニアリングコリア(株)	東洋エンジニアリング(株)	(29)アールエスコリア(株)	リンナイ精機(株)																																																																																															
(8)東京エレクトロコリア(株)	東京エレクトロ(株)	(30)(株)エスエイシー	三建産業(株)																																																																																															
(9)東西石油化学(株)	旭化成ケミカルズ(株)	(31)Altwell Cosmetic(株)	日光ケミカルズ(株)/(株)コスメテクノ																																																																																															
(10)三永INK PAINT製造(株)	東洋インキ製造(株)	(32)(株)友元M&T	(株)山武																																																																																															
(11)ソウル東光(株)	東光(株)	(33)宇進機電(株)	(株)東芝																																																																																															
(12)愛敬化学(株)	大日本インキ化学工業(株)	(34)(株)宇進産電	(株)東芝																																																																																															
(13)LG日立(株)	(株)日立製作所	(35)(株)WIMEX	(株)ワールドプライダル																																																																																															
(14)韓国アルプス(株)	アルプス電気(株)	(36)(株)利生	東洋製缶(株)																																																																																															
(15)韓国横河電機(株)	横河電機(株)	(37)周弘情報通信(株)	日立電線(株)																																																																																															
(16)韓国ヒスコ(株)	(株)日立ハイテクノロジーズ	(38)(株)PULUMUONE	朝日食品工業(株)																																																																																															
(17)Welfied Korea(株)	三菱ウェルファーマ(株)	(39)PULUMUONE第1豆腐工場	朝日食品工業(株)																																																																																															
(18)江南化成(株)	大日本インキ化学工業(株)	(40)韓国松井(株)	(株)松井製作所																																																																																															
(19)(株)金成精工	日精油脂工業(株)	(41)韓国BOLT工業(株)	阪村産業(株)																																																																																															
(20)(株)大同システム	日本ケーブルシステム(株)	(42)韓国OMURON電送(株)	オムロン(株)																																																																																															
(21)東明重工業(株)	ディーエスコポレーション(株)	(43)韓国KOLMAR(株)	日本コルマー(株)																																																																																															
(22)東海電送(株)	古河電気工業(株)	(44)(株)韓-MEC	(株)山武																																																																																															
		(45)ヒロセコリア(株)	ヒロセ電機(株)																																																																																															



# 1. 産業技術人材育成事業

事業名	(3) 品質管理・工業標準化研修 <span style="float: right;">【共同事業】</span>
事業内容	<p>韓国中堅・中小企業の中堅技術者を受入れ、品質管理・工業標準化に関する研修を実施。</p> <p>(1) 対象：中堅・中小企業の中堅技術者30名程度</p> <p>(2) 期間：3週間</p> <p>(3) 内容：座学を主体に基礎から実際編成体系付けた講習を実施 日本のTQM・産業構造 原価管理、方針管理、日常管理 IE、QFD、品質保証、ISO9000 グループディスカッション等</p>
実施状況	<p>1. 期間 研修生30名が2003年6月22日(日)来日、7月12日(土)帰国する迄の3週間、大磯プリンスホテル(神奈川県中郡大磯町)において研修。</p> <p>2. 研修生(30名) 品質管理・生産管理担当次長・課長クラス (年齢 29~42歳)</p> <p>3. 研修内容</p> <p>(1) 講義科目： 日本のTQM、機能別管理・受注生産における現場管理、IEの活用/演習、職場の管理と改善、新QC七つ道具、生産の品質保証、開発・設計の品質保証、トヨタ生産方式、原価管理/コストダウン演習、ISO9000、品質保証とPL、新製品開発のためのQFD他また、講義内容をより理解するために、夕刻の時間を利用したグループディスカッションを実施(計4回)</p> <p>(2) 工場見学： アサヒビール(株) 神奈川工場(平成14年に竣工した最新鋭工場) 富士フィルム足柄工場 (株)オーバル 本社工場(各種流量計ほか製造)</p> <p>(3) その他 地元、大磯商工会議所青年部との交流会</p> <p>4. 特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本年度から韓日財団との共同事業となり、費用の半額が韓国側の負担になった。共同事業になったことと研修参加希望者が多いことから、今年は30名(プラス10名)の研修規模となった。</li> <li>主任講師は例年通り日本科学技術連盟嘱託の高須久先生に委嘱した。日程の作成からご指導を得、また昨年度の評価書を参考にしながら準備を進め、講義と見学のバランスが取れたカリキュラムを作成し、昨年以上のものを準備することが出来た。</li> <li>今回、「トヨタ生産方式」の講義を取り入れたが、講義時間不足で、十分に理解するまでには至らなかったようだ。</li> <li>通訳は昨年に引き続き大阪経済法科大学客員研究員の金正一氏に依頼したが、2年目の余裕と、相変わらずの熱心な通訳で、研修生からは大変信頼されて業務を行うことができた。</li> </ul> <p>5. 成果概要等 研修生からは、「全てが良く計画された研修だったと思います。主任講師の高須先生を始め、機会を与えて頂いた日韓・韓日財団、実務担当のスリーエー、通訳さんなどに深く感謝します。今度の研修は韓国の企業に大いに役にたつと思うし、日本を知る良い機会だったと思います。」等の言葉を頂いている。</p> <p style="text-align: right;">(株)スリーエーネットワークに委託</p>

# 1. 産業技術人材育成事業

事業名	(4) 技術者専門研修 <span style="float: right;">【共同事業】</span>																			
事業内容	韓国中堅・中小企業の現場技術者を対象に、現場の実務と管理に必要な研修を実施。 (1) 対象：中堅・中小企業の現場技術者40名程度(5コース、各コース8名) (2) 期間：2ヶ月半程度 (3) 内容：講義/実習/工場見学																			
実施状況	1. 概要 人数：36名 期間：2003年9月16日(火)来日～11月14日(金)帰国(60日間) コース： 金属部品の加工と生産性向上 中小企業管理者のための生産性向上技術 付加価値生産性向上のための設備技術 設備の有効活用技術 クリープ・ダクトとリサイクル新技術 の5コース 2. 内容 各コースとも、講義/実習/工場見学、及び、4泊5日程度の研修旅行を実施。 工場見学は九州一円の大手企業中心に、研修テーマに関係する企業、研究機関、自治体施設など。																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">コース名称/人員</th> <th style="width: 33%;">講義/実習項目</th> <th style="width: 33%;">研修受入機関企業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="236 1052 675 1171">           金属部品の加工と生産性向上            10名         </td> <td data-bbox="678 1052 1197 1171">           金属部品の各種加工法、試験検査法、劣化対策、品質管理、IE、QC、鋼材加工の自動化など         </td> <td data-bbox="1200 1052 1406 1171">21</td> </tr> <tr> <td data-bbox="236 1176 675 1294">           中小企業管理者のための生産性向上            9名         </td> <td data-bbox="678 1176 1197 1294">           生産性概論、5Sと改善、労働安全、VE、JITとセル生産方式、CAD/CAM、QA、TPM、CAEなど         </td> <td data-bbox="1200 1176 1406 1294">32</td> </tr> <tr> <td data-bbox="236 1299 675 1417">           付加価値生産性向上            6名         </td> <td data-bbox="678 1299 1197 1417">           生産性概論、5Sと改善、労働安全、VE、物流管理・自動倉庫、計装システム、シーケンス制御、CAEなど         </td> <td data-bbox="1200 1299 1406 1417">35</td> </tr> <tr> <td data-bbox="236 1422 675 1541">           設備の有効活用技術            6名         </td> <td data-bbox="678 1422 1197 1541">           設備診断、修繕計画、腐食、磨耗、潤滑管理、軸受保全、工作機械保全、電動機保全、空圧機器保全、疲労破壊など         </td> <td data-bbox="1200 1422 1406 1541">27</td> </tr> <tr> <td data-bbox="236 1545 675 1664">           クリープ・ダクトとリサイクル新技術            5名         </td> <td data-bbox="678 1545 1197 1664">           産廃処理行政、再資源化技術、リサイクル技術、有害廃棄物対策、塵埃焼却設備、下水処理、水産加工物処理など         </td> <td data-bbox="1200 1545 1406 1664">47</td> </tr> </tbody> </table>	コース名称/人員	講義/実習項目	研修受入機関企業	金属部品の加工と生産性向上 10名	金属部品の各種加工法、試験検査法、劣化対策、品質管理、IE、QC、鋼材加工の自動化など	21	中小企業管理者のための生産性向上 9名	生産性概論、5Sと改善、労働安全、VE、JITとセル生産方式、CAD/CAM、QA、TPM、CAEなど	32	付加価値生産性向上 6名	生産性概論、5Sと改善、労働安全、VE、物流管理・自動倉庫、計装システム、シーケンス制御、CAEなど	35	設備の有効活用技術 6名	設備診断、修繕計画、腐食、磨耗、潤滑管理、軸受保全、工作機械保全、電動機保全、空圧機器保全、疲労破壊など	27	クリープ・ダクトとリサイクル新技術 5名	産廃処理行政、再資源化技術、リサイクル技術、有害廃棄物対策、塵埃焼却設備、下水処理、水産加工物処理など	47	
	コース名称/人員	講義/実習項目	研修受入機関企業																	
	金属部品の加工と生産性向上 10名	金属部品の各種加工法、試験検査法、劣化対策、品質管理、IE、QC、鋼材加工の自動化など	21																	
	中小企業管理者のための生産性向上 9名	生産性概論、5Sと改善、労働安全、VE、JITとセル生産方式、CAD/CAM、QA、TPM、CAEなど	32																	
	付加価値生産性向上 6名	生産性概論、5Sと改善、労働安全、VE、物流管理・自動倉庫、計装システム、シーケンス制御、CAEなど	35																	
	設備の有効活用技術 6名	設備診断、修繕計画、腐食、磨耗、潤滑管理、軸受保全、工作機械保全、電動機保全、空圧機器保全、疲労破壊など	27																	
クリープ・ダクトとリサイクル新技術 5名	産廃処理行政、再資源化技術、リサイクル技術、有害廃棄物対策、塵埃焼却設備、下水処理、水産加工物処理など	47																		
3. 成果概要等 ・研修コースによる参加人数のバラツキを考慮し、生産性向上コースを2分割して「中小企業管理者のための生産性向上」コースと「付加価値生産性向上」コースとし、各コース人員を8名/5コースに改訂した。結果40名の定員に対して、36名の参加となったが、今後継続して、韓国サイトのニーズの把握と、さらなる改訂が必要と考えられる。 ・非常にタイトな日程であったが、各界技術の権威者である講師及び指導員諸氏の熱意に溢れたご指導と、研修生の真摯な努力によって、高い研修成果と有意義な研修が得られた。 <div style="text-align: right;">・北九州国際技術協力協会(KITA)に委託</div>																				

# 1. 産業技術人材育成事業

事業名	(5) 理工系大学院生 ウィンターインスティテュート																																
事業内容	<p>韓国の理工系大学院生（博士／修士課程在籍者）を冬休みを利用して約2ヶ月間日本へ招聘し、国立研究所等で専門分野に関する研究を実施。</p> <p>(1) 人数：40名程度                      (2) 期間：2ヶ月程度</p> <p>(3) 内容： 研究活動      日本文化紹介</p>																																
実施状況	<p>1. 概要 大学院生38名（内女性13名）が2004年1月6日（火）来日、2月21日（土）帰国するまでの47日間、つくば地区及び東京地区等において、専門分野の研究活動・日本文化研修を行った。</p> <p>2. 受入研究機関：</p> <table border="0"> <tr> <td>・物質・材料研究機構（つくば）</td> <td>2名</td> <td>・農業技術研究機構（つくば）</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>・気象庁気象研究所（つくば）</td> <td>1名</td> <td>・海洋科学技術センター（神奈川）</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>・国立環境研究所（つくば）</td> <td>4名</td> <td>・通信総合研究所（東京・京都・兵庫）</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>・産業技術総合研究所 （つくば11名・東京1名・佐賀1名）</td> <td>13名</td> <td>・宇宙航空研究開発機構（東京）</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>・建築研究所（つくば）</td> <td>1名</td> <td>・理化学研究所（埼玉）</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>・農業生物資源研究所（つくば）</td> <td>2名</td> <td>・NHK放送技術研究所（東京）</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>・農業環境技術研究所（つくば）</td> <td>2名</td> <td>・日本生物科学研究所（東京）</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>・電子航法研究所（東京）</td> <td>1名</td> <td>・石川県工業試験場（石川）</td> <td>1名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">（計）16機関×38名</p> <p>3. 特記：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募者の中からの最終選定（各研究機関とのマッチング作業）に於いて、予定人員40を決定。親の不幸、就職の決定で直前に2名がキャンセル、最終38名の来日となった。</li> <li>・研修期間中の日本語勉強会の廃止に伴い、事前説明会（11月25日、韓国大田にて）にて日本語事前勉強のための資料配付を行い、事前に勉強して来日するように指導した。</li> </ul> <p>4. 成果等：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回で11回目を迎えた当プログラムは、日韓の研究交流・友好親善を図るよいプログラムとして両国で知られ、既に共同研究等で交流のある研究者がこれを利用して学生を送ったり、この機会を利用して参加学生の指導教官がホスト研究所を訪問して継続的な交流に発展するなど、日韓両国研究者間のネットワークづくりに繋がっている。</li> <li>・今回も当事業への応募者数は90名を数え、2倍強の競争率で選抜されて来ている。研修生の多くが明確な目的をもってプログラムに参加し、新しい技術・知識の習得を図り研究活動の成果を出している。また、ホスト研究者からもその実力について高い評価を頂いている。</li> <li>・ホスト研究所から、参加研修生は非常に優秀である・まじめである等の好評価を頂いており、期末の多忙な時期にもかかわらず、研究生を積極的に受け入れる研究所が増えていく。</li> </ul> <p style="text-align: right;">科学技術国際交流センター(JISTEC)に委託</p>	・物質・材料研究機構（つくば）	2名	・農業技術研究機構（つくば）	1名	・気象庁気象研究所（つくば）	1名	・海洋科学技術センター（神奈川）	1名	・国立環境研究所（つくば）	4名	・通信総合研究所（東京・京都・兵庫）	3名	・産業技術総合研究所 （つくば11名・東京1名・佐賀1名）	13名	・宇宙航空研究開発機構（東京）	2名	・建築研究所（つくば）	1名	・理化学研究所（埼玉）	2名	・農業生物資源研究所（つくば）	2名	・NHK放送技術研究所（東京）	1名	・農業環境技術研究所（つくば）	2名	・日本生物科学研究所（東京）	1名	・電子航法研究所（東京）	1名	・石川県工業試験場（石川）	1名
・物質・材料研究機構（つくば）	2名	・農業技術研究機構（つくば）	1名																														
・気象庁気象研究所（つくば）	1名	・海洋科学技術センター（神奈川）	1名																														
・国立環境研究所（つくば）	4名	・通信総合研究所（東京・京都・兵庫）	3名																														
・産業技術総合研究所 （つくば11名・東京1名・佐賀1名）	13名	・宇宙航空研究開発機構（東京）	2名																														
・建築研究所（つくば）	1名	・理化学研究所（埼玉）	2名																														
・農業生物資源研究所（つくば）	2名	・NHK放送技術研究所（東京）	1名																														
・農業環境技術研究所（つくば）	2名	・日本生物科学研究所（東京）	1名																														
・電子航法研究所（東京）	1名	・石川県工業試験場（石川）	1名																														

## 2. 韓国産業生産性向上協力事業

事業名	(1) 生産性向上モデル企業育成事業																																																																				
事業内容	<p>韓国中堅・中小企業の中から、生産性向上を進めるモデル企業として育成するために、12社を選定し、日本から派遣する専門家が企業毎に企業診断及び生産性の意識・技術を高め生産性向上に協力する。企業毎にチームを編成し専門家が生産性向上を図るための手法を具体的に指導し、経営分析を行い、診断する。経営問題を始め生産性向上等の諸改善計画策定を支援する。又諸問題に対してコンサルティングを行う。今年度は本事業の一般企業への成功事例の共有化及び普及を図るため、成果発表会を開催した。</p>																																																																				
実施状況	<p>1. 実施企業の概要 今年度応募企業45社より対象企業12社を選定して実施。</p> <table border="1" data-bbox="236 689 1410 1205"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施企業</th> <th>都市</th> <th>生産品目</th> <th>専門家</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>半島産業(株)</td> <td>忠北槐山郡</td> <td>庭木剪定鋏</td> <td>三好、柴田</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(株)東宇 Control</td> <td>仁川市</td> <td>電子式点火装置(ガソリン、ボイラー)</td> <td>山崎、金子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>DemcoProbe(株)</td> <td>富川市</td> <td>半導体ICメモリチップ検査用プローブカート</td> <td>伊豫部、梅原</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>(株)3Z</td> <td>ソウル</td> <td>パイプライン用プラグバルブ</td> <td>金子、柴田</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>(株)新暁</td> <td>金海市</td> <td>食品用等の自動真空成形機、高電圧遮断機</td> <td>三好、伊豫部</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>(株)金昌</td> <td>永川市</td> <td>自動車部品(シートクッションフレーム、インパクター)</td> <td>金子、辻</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>禎晟機電(株)</td> <td>清州市</td> <td>自動車部品(ワイパーモーター)</td> <td>伊豫部、田中</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>(株)新興機工</td> <td>金海市</td> <td>自動車部品(ウインドレギュレーター、ドアロック)</td> <td>柴田、三好</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>大陸化学工業(株)*</td> <td>大田市</td> <td>運搬用コンベヤーベルト、建設機械用カラー</td> <td>金子、梅原</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>母甫I.P.C(株)*</td> <td>烏山市</td> <td>電線ケーブル</td> <td>三好、田中</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>SHINE(株)*</td> <td>金海市</td> <td>スルスリフ&amp;ロープ</td> <td>金子、田中</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>平和精工(株)*</td> <td>大邱市</td> <td>自動車部品(ドアモジュール、ストライカー、ラッチ)</td> <td>伊豫部、柴田</td> </tr> </tbody> </table> <p>無印 プロジェクト事業実施 * コンサルティング事業実施</p> <p>2. 実施内容  (1) 1社に対し各延べ2週間の現場指導を実施。コンサルティング事業については1週間実施。  (2) 1社に対し専門家2名が夫々その専門性に依りて、生産性向上全般、技術改善を指導。  (3) 必要に応じてセミナーや管理者教育(役割意識啓蒙)を実施。  (4) 問題意識の高揚と生産性向上を目指し、自主改善プロジェクトチーム(2チーム/社)を編成し、活動(プロジェクト事業)。  (5) 個別の技術問題・技術課題等に関しては、実情に応じて対処。  (6) 成果発表会 プロジェクト実施8社が成功事例を一般企業に対して発表し、共有化と普及を図った。</p> <p>3. 実施期間 12社 2003年5月~12月</p> <p>4. 成果概要  (1) 各社の実情に合わせたきめ細かな指導協力を行った結果、経営者、管理者、従業員は生産性向上に向けての自分の役割を再認識し、職場の活性化など改善に取り組んだ。  (2) 技術改善に関しては可能な限りの協力を行い、生産性向上に寄与した。  (3) 生産性向上に関する自主解決力が養われ、継続できる風土づくりができた。  (4) 経営改善に対する具体的な実施項目と計画が策定できた。  (5) 成果発表会では60社が参加し、8社による成功事例・体験発表により、事例の水平展開、事業の周知が図られた。</p> <p style="text-align: right;">事務局業務を日本エンジェルキャピタル(株)に委託</p>					実施企業	都市	生産品目	専門家	1	半島産業(株)	忠北槐山郡	庭木剪定鋏	三好、柴田	2	(株)東宇 Control	仁川市	電子式点火装置(ガソリン、ボイラー)	山崎、金子	3	DemcoProbe(株)	富川市	半導体ICメモリチップ検査用プローブカート	伊豫部、梅原	4	(株)3Z	ソウル	パイプライン用プラグバルブ	金子、柴田	5	(株)新暁	金海市	食品用等の自動真空成形機、高電圧遮断機	三好、伊豫部	6	(株)金昌	永川市	自動車部品(シートクッションフレーム、インパクター)	金子、辻	7	禎晟機電(株)	清州市	自動車部品(ワイパーモーター)	伊豫部、田中	8	(株)新興機工	金海市	自動車部品(ウインドレギュレーター、ドアロック)	柴田、三好	9	大陸化学工業(株)*	大田市	運搬用コンベヤーベルト、建設機械用カラー	金子、梅原	10	母甫I.P.C(株)*	烏山市	電線ケーブル	三好、田中	11	SHINE(株)*	金海市	スルスリフ&ロープ	金子、田中	12	平和精工(株)*	大邱市	自動車部品(ドアモジュール、ストライカー、ラッチ)	伊豫部、柴田
	実施企業	都市	生産品目	専門家																																																																	
1	半島産業(株)	忠北槐山郡	庭木剪定鋏	三好、柴田																																																																	
2	(株)東宇 Control	仁川市	電子式点火装置(ガソリン、ボイラー)	山崎、金子																																																																	
3	DemcoProbe(株)	富川市	半導体ICメモリチップ検査用プローブカート	伊豫部、梅原																																																																	
4	(株)3Z	ソウル	パイプライン用プラグバルブ	金子、柴田																																																																	
5	(株)新暁	金海市	食品用等の自動真空成形機、高電圧遮断機	三好、伊豫部																																																																	
6	(株)金昌	永川市	自動車部品(シートクッションフレーム、インパクター)	金子、辻																																																																	
7	禎晟機電(株)	清州市	自動車部品(ワイパーモーター)	伊豫部、田中																																																																	
8	(株)新興機工	金海市	自動車部品(ウインドレギュレーター、ドアロック)	柴田、三好																																																																	
9	大陸化学工業(株)*	大田市	運搬用コンベヤーベルト、建設機械用カラー	金子、梅原																																																																	
10	母甫I.P.C(株)*	烏山市	電線ケーブル	三好、田中																																																																	
11	SHINE(株)*	金海市	スルスリフ&ロープ	金子、田中																																																																	
12	平和精工(株)*	大邱市	自動車部品(ドアモジュール、ストライカー、ラッチ)	伊豫部、柴田																																																																	

## 2. 韓国産業生産性向上協力事業

事業名	( 2 ) 専門技術者派遣 <span style="float: right;">【共同事業】</span>																																									
事業内容	<p>九州と韓国間の貿易、投資及び産業技術分野に於ける協力の促進と、双方の地方間経済交流の拡大を目的として「九州・韓国経済交流会議」が、両国政府、地方自治体、民間団体を中心に、93年より定期的で開催されている。</p> <p>本事業は、同会議で合意された事業のうちの一つ。</p> <p>当財団は本事業の所要経費の全額を支援。</p>																																									
実施状況	<p>1. 実施内容の概要</p> <p>( 1 ) 2003年7月 北九州国際技術協力協会(KITA)スタッフによる専門技術者派遣のための事前調査(対象先16社)</p> <p>( 2 ) 2003年9月 選定された専門技術者による事前訪問(選定企業7社、指導先との打合せ)</p> <p>( 3 ) 2003年10月～12月 本指導実施(7社)</p> <table border="1" data-bbox="255 1137 1410 1532"> <thead> <tr> <th></th> <th>派遣企業</th> <th>派遣技術者</th> <th>派遣期間</th> <th>指導内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>(株)SPACE</td> <td>三好 正雄</td> <td>11日間</td> <td>セメント、珪砂等の混合包装ラインの在庫削減等</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>上道電気工業(株)</td> <td>永澤 逸郎</td> <td>7日間</td> <td>「不良品発生防止の管理活動」の企画</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>(株)京仁精密機械</td> <td>松尾 憲一</td> <td>6日間</td> <td>軸の疲労強度、回転曲げ強度、剪断強度</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>高麗機械産業(株)</td> <td>本村 隆</td> <td>7日間</td> <td>生産管理の基本、組立工程分析、時間分析</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>(株)KIC</td> <td>西 武史</td> <td>7日間</td> <td>Roll 軸部の肉盛溶接時に発生する欠陥改善</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>太陽機電(株)</td> <td>小林 昭行</td> <td>30日間</td> <td>MECHA.Valve の開発の進め方</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>(株)大洋計器</td> <td>本村 隆</td> <td>14日間</td> <td>工程表、部品調達表の指導、新設ライン指導</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 派遣指導結果の評価</p> <p>昨年と同様に事前調査、事前訪問による派遣先企業の具体的なニーズ確認の上、指導範囲を絞って明確に設定した。基本的な専門技術や現場技能に係わる指導であったこと、専門技術者が高い技術と豊富な経験を有していたことなどから、早期に解決を図る手法を習得し、すべての企業と相手側技術者から高い評価を得ることができた。又、技術指導をより効果的に実施するために事後調査も行った。( '04年2月)</p> <p style="text-align: center;">・ 北九州国際技術協力協会(KITA)、韓国中小企業振興公団に委託</p>			派遣企業	派遣技術者	派遣期間	指導内容	1	(株)SPACE	三好 正雄	11日間	セメント、珪砂等の混合包装ラインの在庫削減等	2	上道電気工業(株)	永澤 逸郎	7日間	「不良品発生防止の管理活動」の企画	3	(株)京仁精密機械	松尾 憲一	6日間	軸の疲労強度、回転曲げ強度、剪断強度	4	高麗機械産業(株)	本村 隆	7日間	生産管理の基本、組立工程分析、時間分析	5	(株)KIC	西 武史	7日間	Roll 軸部の肉盛溶接時に発生する欠陥改善	6	太陽機電(株)	小林 昭行	30日間	MECHA.Valve の開発の進め方	7	(株)大洋計器	本村 隆	14日間	工程表、部品調達表の指導、新設ライン指導
	派遣企業	派遣技術者	派遣期間	指導内容																																						
1	(株)SPACE	三好 正雄	11日間	セメント、珪砂等の混合包装ラインの在庫削減等																																						
2	上道電気工業(株)	永澤 逸郎	7日間	「不良品発生防止の管理活動」の企画																																						
3	(株)京仁精密機械	松尾 憲一	6日間	軸の疲労強度、回転曲げ強度、剪断強度																																						
4	高麗機械産業(株)	本村 隆	7日間	生産管理の基本、組立工程分析、時間分析																																						
5	(株)KIC	西 武史	7日間	Roll 軸部の肉盛溶接時に発生する欠陥改善																																						
6	太陽機電(株)	小林 昭行	30日間	MECHA.Valve の開発の進め方																																						
7	(株)大洋計器	本村 隆	14日間	工程表、部品調達表の指導、新設ライン指導																																						

## 2. 韓国産業生産性向上協力事業

事業名	(3) 生産性向上短期コンサルティング <span style="float: right;">【共同事業】</span>																																										
事業内容	<p>企業の生産性向上に協力するため、中小企業を対象に7つの技術分野の日本の専門家が各分野毎に企業に出向き指導協力を行う短期コンサルティング。(2.5日/社)</p> <p>'03年度は2.5日/社、計14社実施したが、それまでは1.5日/社、計21社実施していた。'96年度から'03年度で8回実施。</p>																																										
実施状況	<p>1. 実施期間 2003年(平成15年)10月20日(月) ~ 25日(土)</p> <p>2. 実施内容 (1) 指導専門家：7人 (2) 訪問企業：14社 (3) 企業所在地：仁川広域市周辺工業団地(南洞工団、他) (4) 内容：機械組立自動化、電子組立自動化、機械加工、溶接技術、プレス金型技術、射出成形、金属加工に関する計7人の技術専門家が、1人2社合計14社の中小企業を訪問し、事情聴取、現場視察を行ってその企業の抱えている問題を把握した後、適切な改善策及び今後の方策等を提示した。</p> <p>3. 成果概要等 2.5日の短期間のコンサルティングにもかかわらず、大部分の企業が、高く評価している。今後共、指導内容の充実化を図っていきたい。</p> <p>4. その他 実施企業14社及び指導を行った専門家は下記の通りである。</p> <table border="1" data-bbox="274 1505 1407 1899"> <thead> <tr> <th></th> <th>分野</th> <th>専門家</th> <th colspan="2">実施企業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>機械組立自動化</td> <td>柴田 力</td> <td>(株)承光</td> <td>(株)東洋換気</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>電子組立自動化</td> <td>山崎 浩</td> <td>FIBOX (株)</td> <td>(株)満承電気</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>機械加工</td> <td>梅原 敏靖</td> <td>(株)LuBo</td> <td>起信精機(株)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>溶接技術</td> <td>西 武史</td> <td>(株)東原精密機械</td> <td>東洋超音波(株)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>プレス金型技術</td> <td>伊豫部将三</td> <td>三成 Stainless 商工(株)</td> <td>(株)斗星 TECH</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>射出成形</td> <td>渋谷 泰宏</td> <td>(株)鐘宇實業</td> <td>志友産業(株)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>金属加工</td> <td>三好 紀臣</td> <td>(株)中央 P&amp;P</td> <td>(株)大我メタル</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">事務局業務を日本エンジェルキャピタル(株)に委託</p>				分野	専門家	実施企業		1	機械組立自動化	柴田 力	(株)承光	(株)東洋換気	2	電子組立自動化	山崎 浩	FIBOX (株)	(株)満承電気	3	機械加工	梅原 敏靖	(株)LuBo	起信精機(株)	4	溶接技術	西 武史	(株)東原精密機械	東洋超音波(株)	5	プレス金型技術	伊豫部将三	三成 Stainless 商工(株)	(株)斗星 TECH	6	射出成形	渋谷 泰宏	(株)鐘宇實業	志友産業(株)	7	金属加工	三好 紀臣	(株)中央 P&P	(株)大我メタル
	分野	専門家	実施企業																																								
1	機械組立自動化	柴田 力	(株)承光	(株)東洋換気																																							
2	電子組立自動化	山崎 浩	FIBOX (株)	(株)満承電気																																							
3	機械加工	梅原 敏靖	(株)LuBo	起信精機(株)																																							
4	溶接技術	西 武史	(株)東原精密機械	東洋超音波(株)																																							
5	プレス金型技術	伊豫部将三	三成 Stainless 商工(株)	(株)斗星 TECH																																							
6	射出成形	渋谷 泰宏	(株)鐘宇實業	志友産業(株)																																							
7	金属加工	三好 紀臣	(株)中央 P&P	(株)大我メタル																																							

### 3. 産業技術交流事業

事業名	(1) 産業技術交流促進ミッション		【共同事業】
事業内容	<p>韓国中堅・中小企業の経営者 / 中堅幹部を1回につき40名程度日本に招聘し、日本の中堅・中小企業の工場見学を中心に産業技術交流を年2回実施。</p> <p>(1) 対象：韓国中堅・中小企業の経営者クラス 40名程度 / 回</p> <p>(2) 期間：1週間程度 / 回</p> <p>(3) 内容： 工場見学 (機械系と電機系の2グループに分け、各グループ5工場程度を見学) 日韓中堅・中小企業経営者交流会、展示会见学、セミナー、等</p>		
実施状況	2003年度春季(第16回)		2003年度秋季(第17回)
	期間(来日~帰国)	03年6月1日(日)~6日(金)	03年9月29日(月)~10月4日(土)
	場所	大分/福岡	大阪/京都
	ミッションメンバー	40名	41名
	後援	九州経済産業局・大分県・福岡県・大分/福岡商工会議所連合会・JETRO 大分ほか6機関	近畿経済産業局・大阪府・京都府・駐大阪大韓民国総領事館ほか3機関
	内容	<p>工場見学</p> <p>機械・自動車グループ ・(株)藤製作所 ・第一施設工業(株) 合同見学 ・大分県産業科学技術センター ・福岡県スア</p> <p>電気・電子グループ ・(株)デンケン ・(株)西宮研 合同見学 ・大分県産業科学技術センター ・福岡県スア</p>	<p>工場見学</p> <p>機械・自動車グループ ・(株)中農製作所 ・フジ矢(株) ・須可車(株) 合同見学 ・(株)国際電気通信基礎技術研究所 ほか</p> <p>電気・電子グループ ・ダイキン工業(株) ・朝日インテック工業(株) 合同見学 ・(株)国際電気通信基礎技術研究所 ほか</p>
	展示会见学	第43回西日本総合機械展 於：小倉 西日本総合展示場	なし
	セミナー	講師 (株)アイ・ビジネスセンター 取締役 白石富久氏 テーマ：「Nextr@de.gate to Fukuoka, Kyushu」 於：福岡県塚合同庁舎 会議室	講師 (株)最上インクス 代表取締役 鈴木三朗氏 テーマ：「わが社の戦略 薄板金属加工のコンビニ」 於：ホテル京阪京都 2階「桜の間」
企業交流会	大分県において実施。 日本企業20社 / 21名が参加。	大阪府において実施。 日本企業36社 / 36名が参加。	
歓迎交流会	大分県及び福岡県それぞれにて開催 出席者は 大分県約90名 福岡県約100名の参加	大阪府・京都府合同にて開催 出席者は 約100名の参加	
<p>成果概要等</p> <p>本ミッションは4年前より、日韓地域間交流促進という両国政府方針に沿って、訪問地を主として「地方」にするとともに訪問地の経済産業局はじめ官公庁経済団体の後援をいただいて実施しており、その全面のご支援のお陰で、より一層充実した内容で開催できるようになってきている。1週間の間に数百人の関係者を整齊と動かす必要があり、準備は大変であるが、ミッションメンバーからは「周到に準備・手配がなされており感心した」とのコメントを毎回得ている。本ミッションは、日韓友好促進と日韓地域間交流促進に役立っている。</p> <p style="text-align: center;">第16回：(株)インターグループ委託      第17回：(株)インターグループ委託</p>			

### 3. 産業技術交流事業

事業名	(2) 官民若手交流事業 / 次世代オピニオンリーダー <span style="float: right;">【共同事業】</span>
事業内容	日韓両国の産業界・経済界、官公庁、マスコミ、学会、文化・芸術関係者等、各界の若手実力者を相互に招聘し、テーマを決めた全体交流、各界個別の交流、文化交流などを行い、現状認識・相互理解・国際交流を深めると共に、次世代の日韓関係を担うオピニオンリーダーの育成を図ることを目的とした事業。
実施状況	<p>1. 対象人数等 日本及び韓国の次世代オピニオンリーダー(各界の30～40才代の若手実力者)を対象とし、日本からは20名派遣、韓国からは25名を受入れ。</p> <p>2. 実施時期 (1)第4回次世代オピニオンリーダー交流訪韓団：2003年6月25日(水)～7月4日(金) (2)第4回次世代オピニオンリーダー交流訪日団：2003年12月3日(水)～12日(金)</p> <p>3. 概要及び成果 (1) 第4回次世代オピニオンリーダー交流訪韓団 外交通商部・産業資源部・国会議員等の韓国政府関係者との面談を始め、日本大使館や韓国中小企業振興公団関係者との懇談、韓国が誇る浦項総合製鉄・韓国ガス公社及び釜山ではルノー三星自動車・釜山港コンテナターミナルの見学、講師による経済分野・外交安保分野の講演、西江大学校に於ける学生・教授との交流、緊迫に満ちたDMZ(非武装地帯)訪問など、10日間に亘る充実した内容であった。 参加メンバーの内12名が初めての訪韓であり、先入観無しに韓国を体験し、教科書問題をタブー視することなく積極的に質問し、真摯に討議し、未来指向の友好関係構築に大きな役割を果たした。</p> <p>(2) 第4回次世代オピニオンリーダー交流訪日団 国会・外務省・韓国大使館等の政府関係先の訪問・懇談を始め、元宇宙飛行士毛利衛さんが館長を務める日本未来科学館にて、毛利館長のご講演と見学、工場見学では東芝科学館、ノーベル化学賞の田中耕一さんが勤める計測機器の島津製作所及びアサヒビール吹田工場の訪問・工場見学を行った。教育関係では山梨英和中学校・高等学校にて教師体験等の交流と明治大学駿河台校舎にて学生との交流及び懇親を深めるなど、10日間に亘る充実した内容であった。 京都視察では銀閣寺及び清水寺の見学と、アマタヤ工房に於いての七宝焼きほかの日本文化体験実習を行い、日本全般に対する理解を深めた。</p> <p style="text-align: center;">訪韓団派遣 (株)インターグループに委託      訪日団受入 (株)インターグループに委託</p>



### 3. 産業技術交流事業

事業名	<p>(3) 地域間各種交流事業支援</p> <p>九州・韓国経済交流会議関連事業への参加と支援</p> <p>北陸・韓国経済交流会議関連事業への参加と支援</p>
事業内容	<p>九州と韓国の貿易、投資及び産業技術分野に於ける協力の促進と、双方の地方間経済交流の拡大を目的として「九州・韓国経済交流会議」が、両国政府、地方自治体、民間団体を中心に、93年より定期的に開催されている。財団は下記事業に参加、所要経費の一部を支援した。</p> <p>北陸・韓国経済交流会議は、平成11年12月通商産業大臣と韓国産業資源部長官主宰で開催された「第2回日韓官民合同投資促進協議会」の合意に基づき設置され、これまで日韓交互に3回開催され本年度第4回は韓国・大邱にて開催され、財団は下記事業に参加、所要経費の一部を支援した。</p>
実施状況	<p><u>九州・韓国経済交流会議関連事業</u></p> <p>第10回九州・韓国経済交流会議</p> <p>1. 実施期間 2003年7月14日～7月16日</p> <p>2. 実施場所 韓国・済州島西歸浦KALホテル</p> <p>3. 主要行事 九州・韓国経済交流会議 九州・韓国貿易促進セミナー 九韓投資環境説明会</p> <p>九州・韓国ビジネスマッチング事業</p> <p>1. 実施期間 2003年12月4日～2004年3月24日</p> <p>2. 実施場所 (財)九州産業技術センター/アジア太平洋インポートマート</p> <p>3. 主要行事 九州・韓国経済交流セミナー/商談会 九州・韓国ビジネスマッチング事業/商談会</p> <p>第7回九州・韓国産業技術交流ミッション</p> <p>1. 実施期間 2004年2月17日～19日</p> <p>2. 実施場所 韓国ソウル及び近郊</p> <p>3. 主要行事 天安 牙山ディスプレイ地帯、ハイニックス半導体(株)他視察 韓日企業交流会/商談会</p> <p><u>北陸・韓国経済交流会議関連事業</u></p> <p>第4回北陸・韓国経済交流会議</p> <p>1. 実施期間 2003年5月28日～5月30日</p> <p>2. 実施場所 韓国・大邱インターブルゴホテル</p> <p>3. 主要行事 民官合同会議 韓国投資環境説明会/北陸企業プレゼンテーション 北陸ビジネスチャンスセミナー/商談会</p> <p>「富山・韓国ITベンチャー経済交流会」</p> <p>1. 実施期間 2003年10月31日</p> <p>2. 実施場所 富山産業展示館(テクノホール)</p> <p>3. 主要行事 システム展示及び商談会 講演会及び意見交換 懇親交流会</p>

### 3. 産業技術交流事業

事業名	(4) 部品・素材産業活性化事業 日韓中小企業相互補完商談会 <span style="float: right;">【共同事業】</span>																																															
事業内容	両国の中小企業の連携による相互補完の関係、「ウィン・ウィン」の関係構築を目的とし、一層の活性化を促すための商談会を以下の如く実施した。																																															
実施状況	<p>商談会の開催概要</p> <p>1) 開催日程・開催場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日韓両国の財団の共催により、本商談会を、平成15年10月23日(木)～25日(土)の日程で、ロッテホテル(ソウル)で開催した。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="323 707 1358 913"> <thead> <tr> <th colspan="2">日時</th> <th>開催内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月23日(木)</td> <td>18:30～20:00</td> <td>歓迎晩餐会</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10月24日(金)</td> <td>10:00～17:00</td> <td>商談会</td> </tr> <tr> <td>17:00～19:00</td> <td>両国企業交流会</td> </tr> <tr> <td>10月25日(土)</td> <td></td> <td>面談企業への訪問(工場見学等)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 参加企業数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本商談会には日本企業9社(8グループ)、韓国企業50社の参加があり、両国合わせて、合計59社の参加があった。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="323 1077 1385 1547"> <thead> <tr> <th colspan="3">表 日本側参加企業の一覧</th> </tr> <tr> <th>企業名</th> <th>事業概要</th> <th>従業員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チバダイス</td> <td>プラスチック歯車用金型、精密歯車</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>マイクロン・エンジニアリング</td> <td>精密機械部品加工</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>白田工業</td> <td>半導体製造用金型</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>ヴィジョン</td> <td>ミネラル水、深海水、天然塩</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>I M S</td> <td>樹脂サッシ、建設資材輸入</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>カワイローラ</td> <td>ベルトコンベアーのローラーとパーツ</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>松栄特殊印刷工業</td> <td>金属オフセット印刷</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>テラバイト</td> <td>半導体レーザー美容器</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>日本キーフレックス</td> <td>電子機器販売</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 日本キーフレックス社は、テラバイト社製品の海外販売商社である。</p> <p>商談実績</p> <p>1) ソウルでの商談実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソウルでの商談会では、1社(グループ)当たり3～11件の商談が実施され、合計62件の商談(日本企業1グループ当たり平均7.8件)が実施された。</li> </ul> <p>2) その後の商談状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソウルでの商談会後、各社ごとに具体的な商談が進められており、1月末時点で合計12件の商談が継続されている。</li> <li>本商談会事業での商談成立第1号として、1月末時点で1件の商談が契約締結(日本製品の生産委託)まで至っている。</li> </ul>	日時		開催内容	10月23日(木)	18:30～20:00	歓迎晩餐会	10月24日(金)	10:00～17:00	商談会	17:00～19:00	両国企業交流会	10月25日(土)		面談企業への訪問(工場見学等)	表 日本側参加企業の一覧			企業名	事業概要	従業員数	チバダイス	プラスチック歯車用金型、精密歯車	30人	マイクロン・エンジニアリング	精密機械部品加工	40人	白田工業	半導体製造用金型	21人	ヴィジョン	ミネラル水、深海水、天然塩	32人	I M S	樹脂サッシ、建設資材輸入	19人	カワイローラ	ベルトコンベアーのローラーとパーツ	25人	松栄特殊印刷工業	金属オフセット印刷	36人	テラバイト	半導体レーザー美容器	90人	日本キーフレックス	電子機器販売	-
日時		開催内容																																														
10月23日(木)	18:30～20:00	歓迎晩餐会																																														
10月24日(金)	10:00～17:00	商談会																																														
	17:00～19:00	両国企業交流会																																														
10月25日(土)		面談企業への訪問(工場見学等)																																														
表 日本側参加企業の一覧																																																
企業名	事業概要	従業員数																																														
チバダイス	プラスチック歯車用金型、精密歯車	30人																																														
マイクロン・エンジニアリング	精密機械部品加工	40人																																														
白田工業	半導体製造用金型	21人																																														
ヴィジョン	ミネラル水、深海水、天然塩	32人																																														
I M S	樹脂サッシ、建設資材輸入	19人																																														
カワイローラ	ベルトコンベアーのローラーとパーツ	25人																																														
松栄特殊印刷工業	金属オフセット印刷	36人																																														
テラバイト	半導体レーザー美容器	90人																																														
日本キーフレックス	電子機器販売	-																																														

## 4. 調査広報事業

事業名	(1) 産業国際競争力向上セミナー <span style="float: right;">【共同事業】</span>
事業内容	韓国産業の国際競争力向上に資するため、韓国中堅・中小企業の経営者を対象に、日本の企業経営者の経験を事例を交えて紹介し、韓国企業への適用の可能性を考察させることを目的とするセミナー。
実施状況	<p>1. 開催日： 2003年11月28日(金)</p> <p>2. 開催場所： 韓国・ソウル 新羅ホテル</p> <p>3. 参加人員： 210名</p> <p>4. 内 容</p> <p>基調講演：「<b>がんばれ中小企業</b> トヨタ生産方式の本質と進化(深化) 今何が求められているか」 講師： トヨタ自動車株式会社 技監 林 南八</p> <p>特別講演：「韓国自動車産業の再編による部品業界の進路と戦略」 講師： 韓国電気硝子株式会社 代表理事社長 李 壽一</p> <p>事例報告：「NPSのの基本的に基づいた改善事例」 講師： 株式会社テラルキョクトウ 常務取締役 青山 慶治</p> <p>事例報告：「カンバン方式と」ITシステム導入事例 強い企業だけが生き残る」 講師： 太陽金属工業株式会社 代表理事社長 黄 圭洪</p> <p>5. 成果等</p> <p>(1) 2003年度は、日本、韓国とも経済面では、国際環境及び国内事情ともに明るい材料は無く、特に中小製造業は非常に厳しい状況であった。このような停滞状況より脱出すべく各企業は最大の努力をしているがなかなか成果を挙げるには困難な現状である。そこで、日本のみならず世界の「勝ち組企業」の代表格であるトヨタ自動車株式会社の林技監に「トヨタ生産方式」に就き講演頂き、各企業の聴講者に自社の改革、改善のヒントを得る事は勿論、「意識改革」の第一歩を踏み出してもらえる様企画した。結果として、新聞広告掲載当日、午前中に四百名を越える応募があり、急ぎ応募を締め切る程の人気であり、大盛況であった。</p> <p>また、「トヨタ生産方式」の実践例を「事例報告」として(株)テラルキョクトウ青山常務に講演頂き、聴講者の理解深めた。</p> <p>(2) 韓国側よりは、現代自動車(株)御出身の李社長、黄社長に韓国自動車業に関連するテーマで講演頂いた。</p>

## 4 . 調査広報事業

事業名	( 2 ) 各種委託調査																		
事業内容	<p>韓国産業振興のための基礎調査、分析及び報告書作成或いは特定業種分野の問題研究。 対象は日韓の産業・技術（機械・自動車・電気・電子・化学等製造業の各分野）とその周辺の環境調査。</p>																		
実施状況	<p>本年度実施した調査は下記の通り。 （報告書は日韓両国政府及び関係機関、関係企業等に配布）</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>2003 年韓国経営研究会（ソウルジャパンクラブ - SJC - 加入企業による経営研究会実施を委託、年合計 7 回実施の会合記録）</p> <p><u>2003 年韓国経営研究会の内容（以下 2 種類合計 7 回を実施）</u></p> <p>1 . 経営研究朝食会        主催：日韓産業技術協力財団及び SJC 経営委員会        実施機関：野村総合研究所ソウル支店        頻度：年内計 4 回        本年の共通テーマ：「新政権の経済戦略と日系企業のビジネスチャンス进行研究する」        方式：韓国の経済・産業界のオピニオンリーダーなど、主題に相応しい講師を招き、講義と討議を通じ在韓日本人経営者の韓国産業・経済等に関する学習の場を開発・運営する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="text-align: center;">講演テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回朝食会</td> <td>新政権下での韓国経済政策と見通し</td> </tr> <tr> <td>第 2 回朝食会</td> <td>韓国労働問題について</td> </tr> <tr> <td>第 3 回朝食会</td> <td>新政権の経済戦略 HUB KOREA 戦略、中国戦略等</td> </tr> <tr> <td>第 4 回朝食会</td> <td>来年の経済見通し</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 . 韓国企業経営研究会        主催：日韓産業技術協力財団及び SJC 経営委員会        実施機関：野村総合研究所ソウル支店        頻度：年内計 3 回        本年の共通テーマ：「韓国における日系企業の KFS(成功要因)を実態的に探る」        内容：韓国での日系企業マネジメント事例報告(数名/回)とパネル討論        事例には韓国企業や韓国人経営者を講師として招くよう努力し、より幅広い議論を行う。また、一部プログラムでは韓国人幹部にも出席を求め、多角的な議論を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="text-align: center;">講演テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回経営研究会</td> <td>労使関係を現場の実体験から語る</td> </tr> <tr> <td>第 2 回経営研究会</td> <td>成果主義人事制度について 日系企業のケーススタディ</td> </tr> <tr> <td>第 3 回経営研究会</td> <td>現場管理と KFS SUWON 見学会（日帰り、半日）</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">(株)野村総合研究所ソウル支店に委託</p>		講演テーマ	第 1 回朝食会	新政権下での韓国経済政策と見通し	第 2 回朝食会	韓国労働問題について	第 3 回朝食会	新政権の経済戦略 HUB KOREA 戦略、中国戦略等	第 4 回朝食会	来年の経済見通し		講演テーマ	第 1 回経営研究会	労使関係を現場の実体験から語る	第 2 回経営研究会	成果主義人事制度について 日系企業のケーススタディ	第 3 回経営研究会	現場管理と KFS SUWON 見学会（日帰り、半日）
	講演テーマ																		
第 1 回朝食会	新政権下での韓国経済政策と見通し																		
第 2 回朝食会	韓国労働問題について																		
第 3 回朝食会	新政権の経済戦略 HUB KOREA 戦略、中国戦略等																		
第 4 回朝食会	来年の経済見通し																		
	講演テーマ																		
第 1 回経営研究会	労使関係を現場の実体験から語る																		
第 2 回経営研究会	成果主義人事制度について 日系企業のケーススタディ																		
第 3 回経営研究会	現場管理と KFS SUWON 見学会（日帰り、半日）																		

## 4 . 調査広報事業

事業名	( 3 ) 各種広報事業      b . 両国財団広報事業
事業内容	財団パンフレットの更新、既存のホームページの充実及び更新等を通じて、財団事業の認知とPRをしていく。
実施状況	<p>日韓財団の「ホームページ」のより一層の充実を図った。</p> <p>随時新しい活動内容を情報開示すると共に、基幹データを整理した。</p> <p>財団の実績及び成果事例、各種事業報告、決算書、規定等もアップデートに更新、掲載した。</p>

## ・日韓両財団「連絡協議会」及び「幹事会」の開催

1992年6月に日韓両国政府間で合意された「日韓貿易不均衡是正等のための具体的実践計画」の中で両国の「産業技術協力財団」が協力して業務を実施していくよう連絡協議会を設置することが定められており、その下部機関として幹事会を設け、必要により随時協議することとなっている。

1. 第10回の連絡協議会は下記の通り開催された。

日 時：2003年4月25日（金）

場 所：韓国 大邱広域市 HOTEL INTER - BURGO

出席者：

（日本側）			（韓国側）		
委員長	瀬戸 雄三	理事長	委員長	金相廈	理事長
委員	渡里杉一郎	副理事長	委員	姜信浩	理事
"	秋山 富一	"	"	趙錫来	"
"	亀井 俊郎	"	"	朴世英	"
"	鈴木 政志	"	幹事	韓元碩	専務理事
委員代理	飯島 英胤	"			
"	桜井 健司	"			
幹事	成田 洋助	専務理事			

朝食・意見交換

(1) 両国の産業技術及び財団事業の協力推進について

(2) その他

（なお、第11回の連絡協議会は2004年4月23日(金)名古屋市にて開催された。）

2. 第11回の連絡協議会幹事会は下記の通り開催された。

日 時：2003年5月22日（木）

場 所：韓国 ソウル COEX インターコンチネンタルホテル

出席者：

（日本側）

代表委員	成田 洋助	日韓産業技術協力財団	専務理事
幹事委員	山崎 弘	"	常務理事

委員	宮原 照夫	〃	事業第一部長
〃	讚井 善郎	〃	事業第二部長
〃	宮澤 通泰	〃	事業第三部長
〃	杉山 茂夫	〃	総務部長
Observer	藤原 正彦	駐大韓民国日本国大使館	經濟部 参事官
	瀬尾 正嗣	〃	一等書記官
	伊集院健夫	経済産業省 通商政策局	北東アジア課 課長補佐
	松村 栄作	〃	事務官

## (韓国側)

代表委員	韓 元 碩	韓日産業・技術協力財団	専務理事
幹事委員	許 南 整	韓日財団 産業技術協力 TEAM	TEAM 長
委員	権 純 一	中小企業振興公団 国際協力 TEAM	部長
〃	申 栄 敏	韓日財団 企画管理 TEAM	TEAM 長
〃	柳 奉 雨	韓日財団 経済協力 TEAM	TEAM 長
〃	金 汝 種	韓日財団 産業技術協力 TEAM	部長
〃	宋 成 基	韓日財団 産業技術協力 TEAM	部長
〃	金 彰 彬	韓日財団 企画管理 TEAM	次長
Observer	黄 奎 浩	産業資源部 亜洲協力課	課長
〃	徐 ka Ram	産業資源部 亜洲協力課	事務官
〃	金 鎮 海	外交通商部 亜・太通商課	外交官

## 議 題：

- (1) 2003年度事業進捗状況
- (2) 2004年度事業方針説明
- (3) 2004年度共同事業方針説明
- (4) その他財団運営及び事業実施上の問題点の対策協議

以 上

## . 事 務 局 人 事

平成15年 4月 1日 杉山 茂夫 総務部長に就任(東レ㈱より出向)

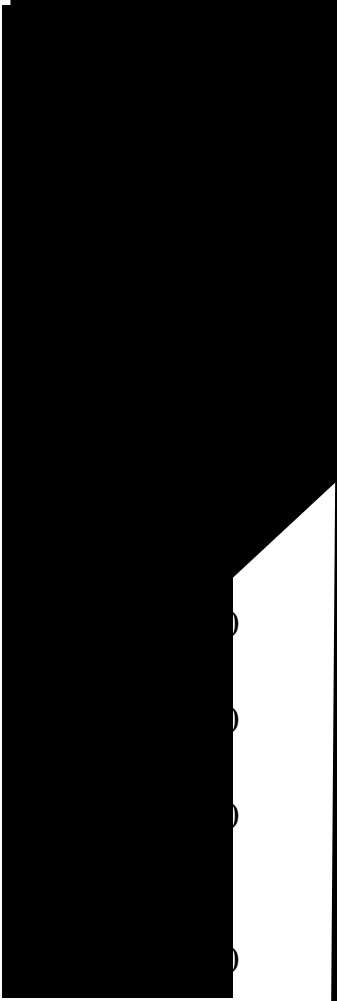
以 上

## 財 団 日 誌 抜 粋

月 日	事 項
平成15年	
4月 1日(火)	杉山部長(東レ㈱)より出向)が総務部長に就任、初出社。
13日(日)	山崎常務理事・讃井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」2次調査のため韓国に出張。〔釜山～ソウル、19日まで〕
16日(水)	北九州市・産業学術振興局・産業振興部・貿易振興課・国際経済担当係長の池永氏他3名が打合せのため来訪。(成田専務理事・宮原部長が対応)
17日(木)	成田専務理事が「経済人会議」結団式に出席。〔於：日本経団連会館〕
23日(水)	成田専務理事・山崎常務理事が「第10回連絡協議会」に出席のため、韓国・大邱に出張。〔於：HOTEL INTER BURGO、26日まで〕
5月 7日(水)	公認会計士の板垣氏の監査。(9日までの3日間)
8日(木)	讃井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」第1社目(半島産業㈱)の専門家説明会を実施。(山崎常務理事同席)
11日(日)	山崎常務理事・讃井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」第1社目(韓国槐山・半島産業㈱)前期実施開始のため出張。(15日まで)
13日(火)	成田専務理事が大使と面談。(瀬戸理事長に随行)
14日(水)	宮澤部長が「先進技術者企業研修」研修生面接試験のため、韓国・ソウルに出張。(22日幹事会出席)
19日(月)	宮原部長が「第16回産業技術交流促進ミッション」工場見学先(西部技研㈱)との事前打合せのため、及び全体会議〔於：九州経済産業局〕のため、福岡県に出張。(21日に韓国・ソウルに移動)
21日(水)	・成田専務理事・山崎常務理事・讃井部長・杉山部長が幹事会出席及び事業部打合せのため、韓国・ソウルに出張。(24日まで、讃井部長は25日に韓国・仁川に移動) ・宮原部長が事業部打合せのため、韓日財団を訪問。
22日(木)	第11回連絡協議会幹事会を開催。(韓日財団との共同開催) 2003年度事業進捗状況及び予定 2004年度事業方針(案) 2004年度各事業について その他 財団運営及び事業実施上の問題点の対策協議 出席者 (日本側)成田専務理事、山崎常務理事、宮原部長、讃井部長、宮澤部長、杉山部長の他、オブザ-バ-として、駐大韓民国日本国大使館の藤原参事官と瀬尾一等書記官、経済産業省・通商政策局・北東アジア課の伊集院課長補佐と松村事務官。



月 日	事 項
5月26日(月)	<p>(韓国側)韓元碩専務理事、許南整理事、権純一部長、申栄敏チーム長、柳奉雨チーム長、金汝種部長、宋成基部長、金彰彬次長、オプザ-バ-として、産業資源部・亜洲協力課の黄奎浩課長。</p> <p>〔於：COEXインターコンチネンタルホテル(韓国・ソウル)〕</p> <p>讚井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」第2社目(韓国仁川・東宇コントロール株)前期及び山崎常務理事及び讚井部長が第1社目(韓国槐山・半島産業株)後期実施のため出張。(31日まで)</p>
28日(水)	<p>成田専務理事・宮澤部長が「第4回北陸・韓国経済交流会議」に出席のため、韓国・大邱に出張。(宮澤部長は31日まで)</p>
6月1日(日)	<p>宮原部長が「第16回産業技術交流促進ミッション」のため、大分県・福岡県に出張。(6日まで)</p>
3日(火)	<p>成田専務理事が「第16回産業技術交流促進ミッション」歓迎交流会に出席のため、大分市及び北九州市に出張。(6日まで)</p>
8日(日)	<p>讚井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」第3社目(韓国富川・Demco Probe株)前期及び第2社目(韓国仁川・東宇コントロール株)後期実施のため出張。(14日まで)</p>
10日(火)	<p>成田専務理事が・日韓経済協会の第19回通常会員総会に出席。</p> <p>〔於：経団連会館〕</p>
11日(水)	<p>成田専務理事・山崎常務理事・杉山部長が平成14年度事業報告及び収支決算報告のため、・日本貿易会の高梨監事を訪問。</p>
12日(木)	<p>成田専務理事が「生産性向上モデル企業育成事業」第2社目(韓国仁川・東宇コントロール株)の最終報告会のため出張。(14日まで)</p>
16日(月)	<p>平成15年度第1回理事会及び第1回評議員会を開催。</p> <p>〔於：経団連会館〕</p> <p>第1回評議員会 審議事項 平成15年度事業計画(案)について 平成15年度収支予算(案)について 報告事項 平成14年度事業報告書について 平成14年度収支決算報告書について</p> <p>第1回理事会 決議事項 第1号議案 平成14年度事業報告(案)承認の件</p>



月 日	事 項
7月22日(火)	〔於：リフレフォーラム（江東区大島）〕 山崎常務理事・杉山部長が住友不動産の志賀氏と事務所移転候補物件の下見。
25日(金)	・宮澤部長が「北陸・韓国経済交流会議」第8回実務者検討委員会に出席のため、富山市に出張。 ・成田専務理事・山崎常務理事が業務打合せのため、・北九州国際技術協力協会（KITA）を訪問。（26日まで）
8月1日(金)	成田専務理事・山崎常務理事・宮澤部長が「経営管理研修」第1班の修了式に出席。〔於：リフレフォーラム（江東区大島）〕
6日(水)	成田専務理事・宮澤部長が11月27日・28日にソウルで開催される「国際競争力向上セミナー」基調講演講師依頼・挨拶のため、豊田自動車(株)の林技監氏を訪問。〔紹介者（仲介役）のアサヒビール(株)執行役員の本山氏が同行、於：愛知県・豊田市〕
13日(水)	山崎常務理事・讃井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」短期コンサルティング事前調査のため、韓国・仁川に出張。（15日まで） 讃井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」第7社目（韓国清州・禎晟機電(株)）前期及び第6社目（韓国永川・(株)金昌）後期実施のため17日に移動。（23日まで）
25日(月)	「先進技術者企業研修」研修生入国。 成田専務理事・宮澤部長が開講式に出席。 〔於：日本教育会館内〕
26日(火)	成田専務理事が打合せのため、・韓日産業・技術協力財団の許南整理事と共に、経済産業省・通商政策局・北東アジア課の松村事務官を訪問。
27日(水)	・宮原部長・杉山部長が「2003年度技術者専門研修」のオリエンテーション、中小企業振興公団との打合せのため、韓国・ソウルに出張。（29日まで） ・山崎常務理事が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業商談会の参加案内のため、I・M・S社（北九州市）とパイ社（大阪市）を訪問。（28日まで）
28日(木)	成田専務理事が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業商談会の参加企業の紹介を受けるため、岐阜県中小企業振興公団の砂田部長と(株)フジ矢（東大阪市）の野崎社長を訪問。
31日(日)	山崎常務理事が「生産性向上モデル企業育成事業」第8社目（韓国金海・(株)新興機工）前期実施開始のため出張。（9月4日まで）

月 日	事 項
9月 1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事が打合せのため、・大田区産業振興協会の山田専務理事を訪問。</li> <li>・成田専務理事が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業商談会の参加案内のため、鍋屋バイテック会社（岐阜県各務原市）と㈱臼田工業（岐阜県関市）を訪問。（2日まで）</li> </ul>
3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・讃井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」第7社目（韓国清州・禎晟機電㈱）前期実施開始のため出張。（9月6日まで）</li> </ul>
5日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮澤部長が「先進技術者企業研修」研修生受入れに係わる打合せのため、㈱ウチダ（大阪府大東市）を訪問。</li> </ul>
10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎常務理事が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業商談会の参加案内のため、㈱ヴィジョン（北九州市）を訪問。</li> </ul>
11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杉山部長が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業商談会の参加案内のため、伊藤工機㈱（大阪府東大阪市）を訪問。</li> </ul>
12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業商談会の参加案内のため、㈱テラバイト（静岡県浜北市）を訪問。</li> </ul>
17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事・宮原部長・杉山部長が・北九州国際技術協力協会（KITA）の開講式及び歓迎会出席のため、北九州市に出張。（成田専務理事は18日まで、宮原部長は18日に大阪へ移動、杉山部長は講義出席のため19日まで）</li> </ul>
18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮原部長が「第17回産業技術交流促進ミッション」第2回全体会議主宰のため、大阪へ出張。〔於：近畿経済産業局〕</li> </ul>
22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・㈱東芝の春日氏が後任者門野氏への引継ぎの挨拶ため来訪。（成田専務理事・山崎常務理事・杉山部長が対応）</li> <li>・「経営管理研修」第2班入国。</li> <li>・成田専務理事・山崎常務理事・宮澤部長が開講式に出席。〔於：リフレフォーラム（江東区大島）〕</li> </ul>
24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎常務理事が「生産性向上モデル企業育成事業」第8社目（韓国金海・㈱新興機工）後期実施のため出張。（27日まで）</li> <li>・杉山部長が三井不動産の井田氏・池田氏と事務所移転候補物件の下見。</li> </ul>
29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事・宮原部長が「第17回産業技術交流促進ミッション」受け入れのため、大阪・京都に出張。（成田専務理事は10月1日まで、宮原部長は10月4日まで）</li> </ul>
10月 3日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NC ネットワークの内原社長が金型ミッションの打合せのため来訪。（成田専務理事・山崎常務理事が対応）</li> </ul>

月 日	事 項
10月 5日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田専務理事・宮澤部長が「経営管理研修」第2班の修了式に出席。 〔於：リフレフォーラム（江東区大島）〕</li> </ul>
7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>山崎常務理事が「生産性向上モデル企業育成事業」コンサルティング・第1社目（韓国大田・大陸化学工業(株)）実施のため出張。（11日まで）</li> </ul>
8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮澤部長が「先進技術者企業研修」関東地域研修生中間報告会に出席。 〔於：リフレフォーラム（江東区大島）〕</li> </ul>
14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮澤部長が「先進技術者企業研修」の中間チェックのため出張。 8日は大垣精工(株)（岐阜県大垣市）、9日は(株)ワールドプライダル（名古屋）・(株)ウチダ（大阪府大東市）、10日は日本ケーブルシステム(株)（兵庫県宝塚市）・三建産業(株)（広島）を訪問。</li> </ul>
16日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田専務理事が打合せのため、全国中小企業団体中央会の田勢専務理事を訪問。</li> <li>(株)臼田工業の臼田専務が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業商談会の打合せのため来訪。（成田専務理事・山崎常務理事・杉山部長が対応）</li> </ul>
17日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮原部長が「第4回韓国次世代オピニオンリーダー・交流訪日団」の受け入れ依頼のため、山梨英和中学校・高等学校を訪問。</li> <li>宮澤部長が専門家の田中氏と「経営管理研修」第3班の事前打合せ。</li> </ul>
19日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田専務理事が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業商談会の打合せのため、ソウルに出張。（18日まで）</li> </ul>
20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>山崎常務理事・讚井部長が「生産性向上短期コンサルティング」実施のため韓国に出張。（25日まで）</li> </ul>
23日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「経営管理研修」第3班入国。</li> <li>成田専務理事・宮澤部長が開講式に出席。 〔於：リフレフォーラム（江東区大島）〕</li> </ul>
31日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田専務理事・杉山部長が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業補完商談会に出席のため、ソウルに出張。〔於：ホテルロッテソウル、25日まで〕</li> </ul>
11月 2日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田専務理事が富山・韓国ITベンチャー経済交流会に出席のため、富山市に出張。（11月1日まで）</li> <li>山崎常務理事・宮澤部長が「経営管理研修」第3班の修了式に出席。 〔於：リフレフォーラム（江東区大島）〕</li> </ul>
10日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>讚井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」コンサルティング・第2社目（韓国烏山・母甫 I.P.C.(株)）実施のため出張。（8日まで）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮原部長が「官民若手交流事業」韓国次世代オピニオンリーダー訪日団</li> </ul>

月 日	事 項
11月12日(水)	受け入れの事前調査のため、都内、甲府、京都及び大阪に出張。(12日まで)
11月13日(木)	成田専務理事・杉山部長が駐日韓国企業連合会創立10周年「韓日経済人の夕べ」に出席。〔於：赤坂プリンスホテル「五色の間」〕
11月14日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事が「日中韓ビジネスフォーラム」結団式に参加。〔於：経団連会館〕</li> <li>・成田専務理事・宮原部長・杉山部長が「技術者専門研修」閉講式・送別会に出席のため、北九州市に出張。(14日まで)</li> </ul>
11月16日(日)	成田専務理事・山崎常務理事・宮澤部長が「先進技術者企業研修」の閉講式に出席。〔於：日本教育会館内〕
11月20日(木)	山崎常務理事が「生産性向上モデル企業育成事業」コンサルティング・第3社目(韓国金海・株SHINE)実施のため出張。(22日まで)
11月24日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事が韓国大使館訪問。(瀬戸理事長に同行)</li> <li>・成田専務理事が日本貿易振興機構(JETRO)の渡辺理事長を訪問。(瀬戸理事長に同行)</li> </ul>
11月26日(水)	宮原部長が「理工系大学院生ウィンターインスティテュート」の現地説明会のため韓国・大田に出張。(26日まで)
11月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事が経済産業省の佐野審議官を訪問。(瀬戸理事長に同行)</li> <li>・讃井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」コンサルティング・第4社目(平和精工株)の専門家説明会を実施。(山崎常務理事同席)</li> <li>・成田専務理事が・日韓経済協会の第3回理事会に出席。〔於：協会会議室〕</li> <li>・宮澤部長が「2003年度産業国際競争力向上セミナー」開催実施のため、ソウルに出張。〔於：ホテル新羅、29日まで〕</li> </ul>
11月30日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事「2003年度産業国際競争力向上セミナー」開催実施のため、ソウルに出張。〔於：ホテル新羅、29日まで〕</li> <li>・山崎常務理事が・日韓経済協会主催の産業貿易会議・歓迎レセプション及び会議に代理出席。〔於：ホテルオークラ東京ベイ、28日まで〕</li> </ul>
12月3日(水)	讃井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」コンサルティング・第4社目(韓国大邱・平和精工株)実施のため出張。(12月6日まで)
12月8日(月)	「第4回韓国次世代オピニオンリ-ダ-交流訪日団」一行25名受け入れ。(12日まで、宮原部長が全行程同行)
12月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事が「第4回韓国次世代オピニオンリ-ダ-交流訪日団」の外務省表敬訪問に同行。</li> <li>・公認会計士の板垣氏の間接監査。(10日までの3日間)</li> </ul>

月 日	事 項
12月 9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事・山崎常務理事が「第4回韓国次世代オピニオンリ-ダ-交流訪日団」瀬戸理事長主催歓迎晩餐会に出席。〔於：ホテルグランドパレス〕</li> <li>・成田専務理事が業務打合せのため、全国中小企業団体中央会の田勢専務理事を訪問。</li> <li>・「第4回韓国次世代オピニオンリ-ダ-交流訪日団」OB 交流会に成田専務理事・山崎常務理事・讃井部長他2名出席。〔於：日本教育会館内〕</li> </ul>
10日(水)	成田専務理事が「部品・素材産業活性化事業」日本製造業訪韓団案内・交流会開催のため、ソウルに出張。〔於：ホテルロッセソウル、13日まで〕
15日(月)	山崎常務理事が・日韓経済協会の政策委員会幹事会に出席。
17日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田専務理事・山崎常務理事・讃井部長が「生産性向上モデル企業育成事業」成果発表会に出席のため、ソウルに出張。</li> <li>〔於：ホテルロッセソウル、19日まで〕</li> </ul>
22日(月)	杉山部長が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業相互補完商談会フォローアップのため、岐阜県関市の㈱臼田工業を訪問。
24日(水)	山崎常務理事が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業相互補完商談会フォローアップのため、北九州市のI・M・S㈱を訪問。
26日(金)	仕事締め。
平成16年	
1月 5日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事始め。</li> <li>・成田専務理事・山崎常務理事・杉山部長挨拶廻り。</li> <li>(5日・6日・8日・13日・18日)</li> </ul>
7日(水)	成田専務理事・山崎常務理事・宮原部長が「第11回理工系大学院生ウィンターインスティテュート」の開講式に出席。〔於：筑波研修センター〕
20日(火)	成田専務理事・宮澤部長が「2003年度産業国際競争力向上セミナー」の講演のお礼と挨拶のため、トヨタ自動車㈱(愛知県豊田市)の林技監を訪問。
21日(水)	成田専務理事が瀬戸理事長と外務省3名との懇談に出席。〔於：アサヒビール本社〕
22日(木)	成田専務理事・山崎常務理事・宮原部長・杉山部長が業務打合せのため、外務省・アジア大洋州局・北東アジア課の垂室長・藤村氏を訪問。
24日(土)	宮原部長が「第11回理工系大学院生ウィンターインスティテュート」の研修旅行に同行。(25日まで)
27日(火)	成田専務理事・山崎常務理事・杉山部長が打合せのため、経済産業省・

月 日	事 項
1月28日(水)	通商政策局・北東アジア課の伊集院課長補佐と松村氏を訪問、及び外務省・アジア大洋州局・北東アジア課の藤村氏を訪問。 成田専務理事・山崎常務理事が役員新春懇親会に出席。〔於：アサヒビール本社〕
29日(木)	中部経済産業局の正木課長と瀬賀氏が打合せのため来訪。(成田専務理事・山崎常務理事・宮澤部長が対応)
30日(金)	成田専務理事・山崎常務理事が「部品・素材産業活性化事業」日韓中小企業相互補完商談会の打合せのため、日本貿易振興機構(JETRO)の百本氏を訪問。
2月5日(木)	宮澤部長が「先進技術者企業研修」の研修生評価懇談会に出席のため、ソウルに出張。(7日まで)
8日(日)	成田専務理事・山崎常務理事・杉山部長が・韓日産業・技術協力財団と産業資源部との打合せのため、ソウルに出張。(11日まで)
13日(金)	・(株)野村総合研究所の米山氏他2名が打合せのため来訪。(成田専務理事・山崎常務理事が対応)
17日(火)	・成田専務理事が駐日大使への挨拶のため、アサヒビール(株)を訪問。 ・宮澤部長が「九州・韓国交流ミッション」に参加のため、ソウルに出張。(19日まで)
20日(金)	・成田専務理事・山崎常務理事・杉山部長が打合せのため、日本貿易振興機構(JETRO)対日アクセス課の根本課長を訪問。
25日(水)	「理工系大学院生ウィンターインスティテュート」の報告会及び送別会を実施。宮原部長が出席。成田専務理事・山崎常務理事は送別会に出席。
27日(金)	成田専務理事が・日韓経済協会の政策委員会に出席。〔於：経団連会館〕
3月2日(火)	・・北九州国際技術協力協会(KITA)の木下副部長と本郷課長が打合せのため来訪。(成田専務理事・山崎常務理事・讃井部長・杉山部長が対応) ・成田専務理事が瀬戸理事長主催の趙世衡駐日大使送別会に出席。 〔於：アサヒビール本社〕
3日(水)	・宮原部長が来年度の「理工系大学院生ウィンターインスティテュート」の打合せのため韓国大田・ソウルに出張。(4日まで)
5日(金)	経済産業省・外務省の監査。(4日まで)
5日(金)	・成田専務理事が趙世衡駐日大使送別会に出席。〔於：ホテルニューオータニ〕 ・日本貿易振興機構(JETRO)が「第2回商談会」の打合せのため来訪。



月 日	事 項
3月12日(金)	(成田専務理事・山崎常務理事・讃井部長・杉山部長が対応) 日本貿易振興機構(JETRO)が「第2回商談会」の打合せのため来訪。
16日(火)	(成田専務理事・山崎常務理事・讃井部長が対応) 成田専務理事・山崎常務理事が韓国ジャーナリストとの懇談会に出席。 〔於：アサヒビール本社〕
25日(木)	平成15年度第2回理事会及び第2回評議員会を開催。 〔於：経団連会館〕 第2回評議員会 審議事項 平成16年度事業計画(案)について 平成16年度収支予算(案)について 報告事項 事務所移転について 役員の在任年齢に関する規定について その他 第2回理事会 決議事項 第1号議案 平成16年度事業計画(案)承認の件 第2号議案 平成16年度収支予算(案)承認の件 報告事項 事務所移転について 役員の在任年齢に関する規定について その他
26日(金)	杉山部長が監査のため(株)日本エンジェルキャピタル(JACC)を訪問。 (株)スリーエーネットワークを訪問。(29日)
29日(月)	大垣精工(株)の上田社長が瀬戸理事長を訪問。(成田専務理事が同行)
31日(水)	成田専務理事・山崎常務理事が商談会の打合せのため、アトムショックウェーブ(株)を訪問。

以 上